

2023年6月9日

各位

上場会社名 東洋建設株式会社
代表者 代表取締役専務執行役員 戴下貴弘
(コード番号 1890 東証プライム)

洋上風力発電事業に関する合弁会社の設立に関するお知らせ

当社は、2023年6月9日、株式会社商船三井（以下、「商船三井」）と洋上風力発電事業に関する合弁会社の設立に係る契約（以下、「本契約」）を締結致しました。

当社と商船三井は、2022年2月21日に公表しました「洋上風力発電関連作業船の協業検討に関する覚書」に基づき、洋上風力発電事業の協業について検討および協議を1年以上に亘り重ねてまいりました。その結果、両社による合弁会社を設立することにより、洋上風力に関する調査計画・作業船調達や海上工事などの幅広い分野において、より強いシナジーを発揮し、具体的かつスピーディーに事業の確立を目指すことが可能になるとの結論に至りました。

当社は、2023年3月23日に新しい5ヶ年の中期経営計画（以下、「新中期経営計画」）を公表しておりますが、本契約に基づく合弁会社による洋上風力発電事業への取り組みは、新中期経営計画における成長ドライバーとして設定している当社の洋上風力事業の実現性を一段と高める「攻め」の経営変革（MX：Management Transformation）推進策の第一弾となります。

尚、当社では本契約を前提とした新中期経営計画の策定を行っており、新中期経営計画において公表している洋上風力事業の数値目標やロードマップに変更はありません。

当社が有する海洋工事の豊富な知見・人材および洋上風力発電に関する技術開発力と、商船三井が長年積み重ねてきた船舶の建造・保有・運航における豊富な実績を組み合わせることで、国内外で増加が見込まれる作業船需要に応え、再生可能エネルギーの切り札として期待される洋上風力発電事業の幅広い事業領域における要望にお応えするエンジニアリング&ソリューションカンパニーとして、バリューチェーンに広く貢献してまいります。

本契約に基づく取り組みにより、強固な財務基盤や技術基盤およびアジア等海外へのアクセス力の増強を背景に、当社単独で洋上風力発電事業に参入するよりも、より迅速、且つ、確実に幅広い事業領域への参画が実現できると考えており、このことが当社グループによる環境負荷軽減への貢献を一層促進し、当社グループの企業価値が向上するものと確信しております。

本契約および合弁会社の概要は、同日に公表しました両社連名によるリリース「東洋建設と商船三井が洋上風力発電事業に関する合弁会社の設立に係る契約を締結」をご参照ください。

以上